

平成 26 年度「首里高校内中城^{うどうん}御殿跡」発掘調査 現地説明会

沖縄県立埋蔵文化財センター

首里高校内中城御殿跡は、沖縄県立首里高等学校（那覇市首里真和志町 2 丁目 43）のグラウンド部分で発見された遺跡です。

なぜ遺跡だとわかったの？

現首里高校の校舎が老朽化したため、現在のグラウンドに新校舎の建設が計画されました。事前の試掘調査で、一直線に長くのびる石積みやたくさんの遺物がでてきたことから、遺跡が良好な状態で残っていることがわかりました。そのため、人力で少しずつ発掘し、遺跡の様子をきちんと記録することが必要になりました。

どんな遺跡なの？

今から約 300 年前に描かれた「首里古地図」という絵図が残されています。この絵図と照らし合わせてみると、新校舎建設の計画された場所が中城御殿であることがわかりました。

中城御殿ってなに？

中城御殿とは、次の琉球国王となる世子が暮らした邸宅のことです。名前の由来は、王子が王世子（王位継承者）になると、中城間切（現北中城村、中城村などを含む）を領地としたことから、中城王子あるいは中城御殿と呼ばれたことにあります。

新旧の中城御殿

中城御殿は、当初 1621 年～ 1640 年ごろ、現在の首里高等学校敷地内に造られました。1875 年（明治 8 年）に旧県立博物館跡地に移転しました。

これまでの調査成果は？

これまでの調査成果で、中城御殿に関係する石積みや水場遺構などが確認されています。創建以前の柱穴なども発見されており、非常に保存状態がよいことがわかっています。



首里高校内中城御殿周辺航空写真 (国土院埋蔵文化財センター 2010 年撮影 C 11-12)



首里高校内中城御殿周辺航空写真（戦前撮影）

発掘調査成果について

昨年度からの調査成果で、中城御殿では平たい場所をつくるために、多くの盛土を行っていることが判明しました。また、使用していた食器類がまとめて捨てられていました（写真4）。使用されていた時代や、当時の食事の様子を知ることができる貴重な資料です。金属製品やビーズなどの珍しい遺物も数多く出土しており、中城御殿よりも前の時期のゴミ捨て場も見つかっています。中城御殿が創建される前に使用されていた食器や、食べていたものもわかりました。



写真1 水場遺構

井戸の前には、きれいに石が敷かれています。排水のための溝もあります。



写真2 出土した「寛永通寶」

約400年前から製造され始めた銭貨です。



写真3 石積み遺構

調査区北側にある石積みです。首里古地図にある石積みだと考えられます。



1,700年代に描かれた「首里古地図」 沖縄県立図書館所蔵

解明された遺跡の謎と今後の発掘調査の予定

発掘調査現場では、首里古地図に描かれていない遺構が数多くあり、家屋の建て替えを頻繁に行っていたことがわかります。

発掘調査期間は平成26年末までを予定します。発掘調査も終盤となり、だんだんと当時の中城御殿の様子が判明してきました。また、中城御殿が創建される以前の様子も判明してきました。これからも丁寧に発掘調査を進め、中城御殿や、創建される以前の様子の把握に努めていきたいと考えています。



写真4 まとめて捨てられた食器

発掘調査区の北西側で、たくさんの食器が捨てられた場所がありました。

沖縄、中国、日本本土で作られたものです。中でも、中国で作られた食器が最も多く発見されています。

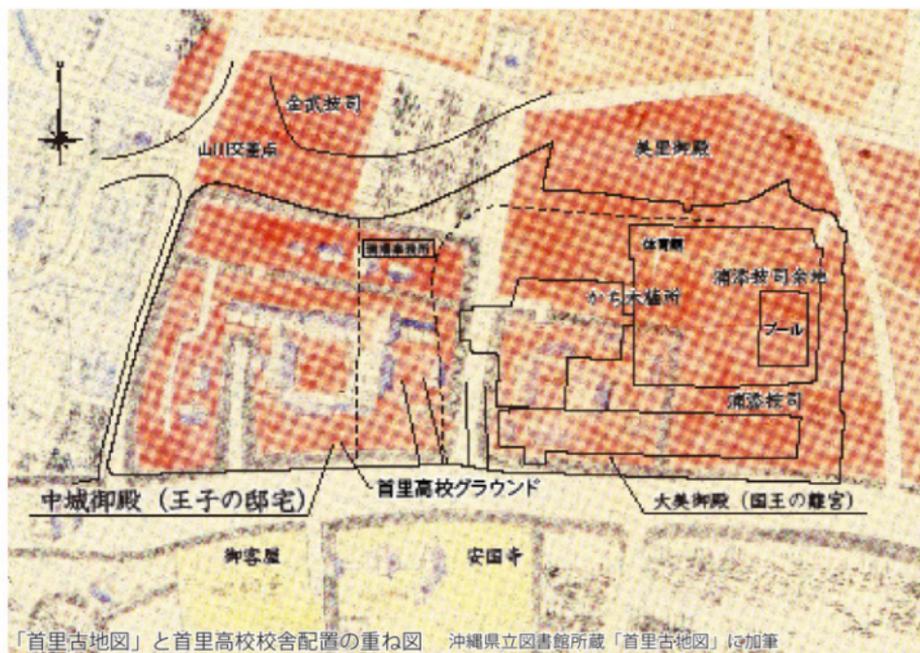


写真5 石積み遺構

斜面にある中城御殿は、平たい場所を作るために土を盛っています。その盛土が崩れないようにするために作られた石積みです。

中城御殿関連年表

西暦	元号	首里高校内中城御殿跡
1621～40年	尚豊王代	尚豊王代 中城御殿が現県立首里高校の地に建設される
1798年	尚温4/寛政10年	国学を開く
1808年	尚灝5/文化5年	王子邸にて冊封使に「料理馳走置」が出される
1870年	尚泰23/明治3年	中城御殿が龍潭北側に新しく造営されることが決まる
1872年	尚泰25/明治5年	久場川菜園を廃除し、中城旧殿の宅内にて改めて菜園を開き、栽培を按司奉行や親方奉行をこの役所に配置
1875年	尚泰28/明治8年	中城王子尚典公 新築した屋敷に移る
1879年	尚泰32/明治12年	廃藩置県に伴い、国学は県庁の所管となる
1880年	明治13年	東京師範学校から教員を招聘し、教則の認可を受け、首里中学校と改称
1887年	明治20年	沖縄県尋常中学校と改称
1899年	明治32年	沖縄県立中学校と改称
1911年	明治44年	沖縄県立中学校分校が独立し沖縄県立第二中学校と称したのに伴い、 沖縄県立中学校は沖縄県立第一中学校と改称
1945年	昭和20年	沖縄戦により壊滅
1946年	昭和21年	糸満高等学校首里分校として発足 首里高等学校として独立
1980年	昭和55年	創立100周年に際し校舎を改築し、現在に至る
2011～2012年	平成23～24年	那覇市教育委員会（試掘）、県教育庁文化財課（造成土掘削、測量）
2013年8月	平成25年8月	県立埋蔵文化財センターによる本調査開始



「首里古地図」と首里高校校舎配置の重ね図 沖縄県立図書館所蔵「首里古地図」に加筆

※ 許可なく本資料の複製および転載、複写を禁ずる。